

政策提言書

ひたち ^{じゅう}住スタイル

～ 「海」と「山」をいかした定住促進策 ～

平成30年11月30日

日立市議会

(日立市議会まちづくり政策協議会)

はじめに

日立市議会は、市民の負託に応えるために、開かれた議会、分かりやすい議会を目指し議会活動の活性化を推進しており、その一環として、平成27年3月に議会基本条例を制定した。

議会基本条例には、議員同士の自由闊達な議論により政策立案を進めることが規定されていることから、政策立案を議論する議会内の任意の協議機関として、平成29年9月の会派代表者会議での合意を得て、同年の第3回定例会において「日立市議会まちづくり政策協議会」の設立を決定した。

政策協議のテーマ選定に当たっては、本市のにぎわいや安心・安全なまちづくりの観点から、観光及び医療関係者へのヒアリングなどを行い、その結果、本市は、これまで住みよいまちとして市民の間で評価されてきた半面、人口減少が進み、このことが喫緊の課題であることから、定住（移住）促進策を大きなテーマとして選定することとした。

そして、ヒアリング調査の内容を吟味するなどして、具体的な政策提言に向け、日立市が誇れる観光資源や歴史資産の中から「海」と「山」を取り上げ、その活用による「住みたいまち、住み続けたいまちの実現」について協議することとした。

まちづくり政策協議会の協議は28回に及び、それ以外にも各会派の代表による準備会や先進市議会の調査、市内の現地調査などを行いながら、最終的には、全議員の合意を得て、政策提言書“じゅう住スタイル” ～「海」と「山」をいかした定住促進策～ をまとめたところである。

執行部においては、この提言書を参考として、日立市が他に誇れる貴重な資産である「海」と「山」を活用した施策をこれまで以上に推進し、本市への「定住」や「移住」につなげていただくことを期待するものである。

目 次

1	取組の経過	1
	(1) 協議経過	
	(2) ヒアリング調査	
	(3) 先進市議会調査	
	(4) 現地調査	
2	日立市の海と山を取り巻く現状	2
	(1) 人口減少と若年層の転出超過の実態	
	(2) 海の現状と課題	
	(3) 山の現状と課題	
3	課題解決のための海・山の活用の狙いとコンセプト	6
	(1) 海・山共通のキャッチコピー	
	(2) 海活用のコンセプト	
	(3) 山活用のコンセプト	
4	政策提言	7
	4-1 海の政策テーマ	7
	(1) 海の活用の方向性	
	(2) エリアごとの施策	
	(3) エリア共通の施策	
	4-2 山の政策テーマ	9
	(1) 山の活用の方向性	
	(2) エリアごとの施策	
	(3) エリア共通の施策	
5	むすびに	12
	<資料>	
	まちづくり政策協議会委員名簿	14
	まちづくり政策協議会（準備会）の開催経過	15
	まちづくり政策協議会の現地調査箇所	16
	海に関する課題まとめ	17
	山に関する課題まとめ	19
	海と山 エリアごとのイメージ図	21
	海に関する政策立案まとめ	23
	山に関する政策立案まとめ	25

1. 取組の経過

(1) 協議経過

ア まちづくり政策協議会の構成

座長を副議長とした上で、各会派（無会派を含む）の構成人員の比率により委員を選出して、合計で12名の構成とした。委員名簿は、資料-1(P.14)のとおり。

イ まちづくり政策協議会の開催経過

まちづくり政策協議会は、委員全員で政策議論を進める場として、関係団体へのヒアリング調査を含めこれまで28回開催したほか、各会派（無会派を含む）の代表者1名による準備会（方針会議）を5回開催して協議を進めた。協議会及び準備会の開催経過は、資料-2(P.15)のとおり。

(2) ヒアリング調査

ア 観光関係：観光物産協会と産業経済部（観光物産課）、日立商工会議所（観光委員会）

イ 医療関係：日立総合病院、ひたち医療センター

(3) 先進市議会調査

日立市議会においては、議会全体としての政策協議は初めての取組であるため、先進事例として群馬県桐生市議会、東京都小平市議会を訪問し、協議の方法や政策提言のまとめ方などについて調査を行った。

(4) 現地調査

「海」と「山」の現状を委員全員で把握するため、ポイントを絞り、現地調査を実施した。調査箇所等は、資料-3(P.16)のとおり。



観光物産協会、産業経済部(観光物産課)とのヒアリング



小平市議会への先進地調査

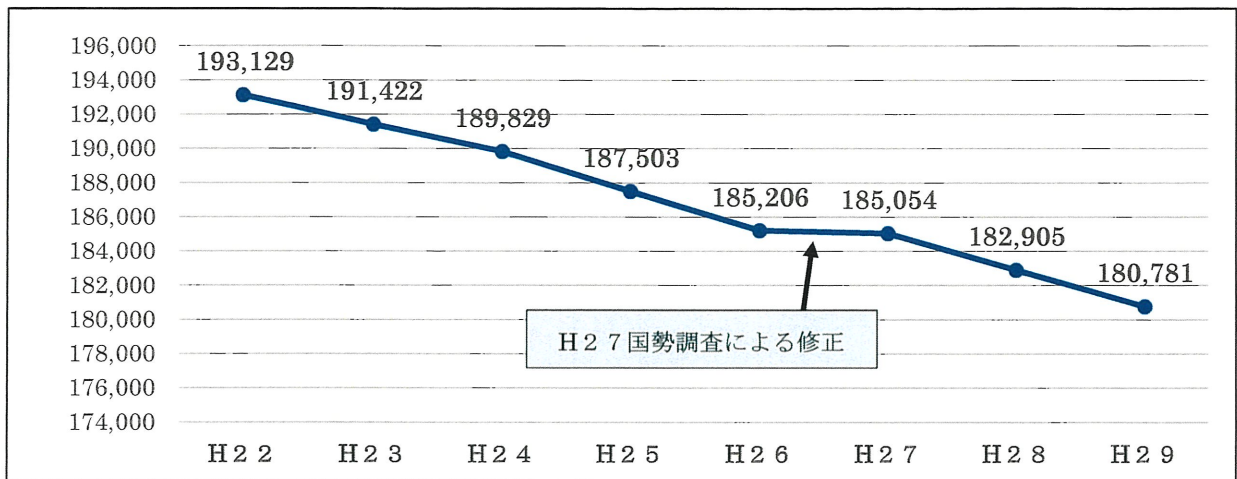
2. 日立市の海と山を取り巻く現状

(1) 人口減少と若年層の転出超過の実態

本市の人口は毎年2千人を超える減少が続いており、その要因の一つである転出の状況を見ると、20歳から39歳の若年層が全体の約65%を占めている。

【日立市の人口減少の推移】

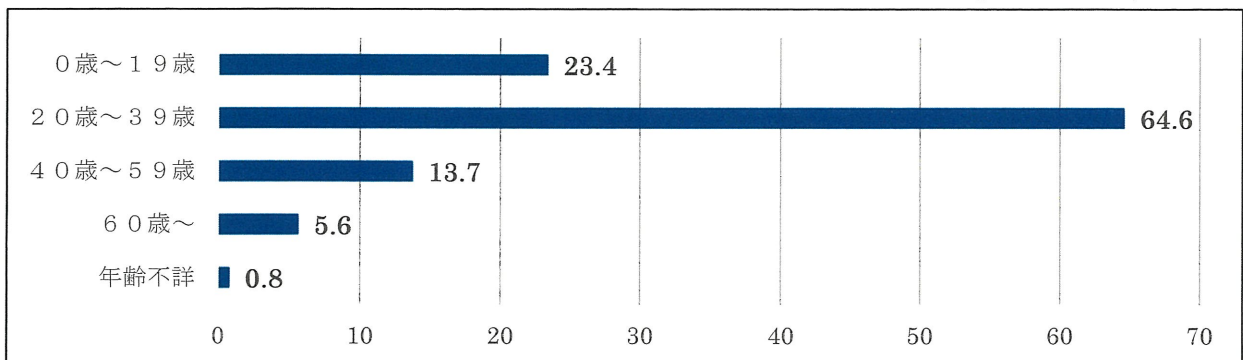
(単位：人)



資料：市政概要

【アンケート結果による年齢別転出者の割合（平成29年1月～12月）】

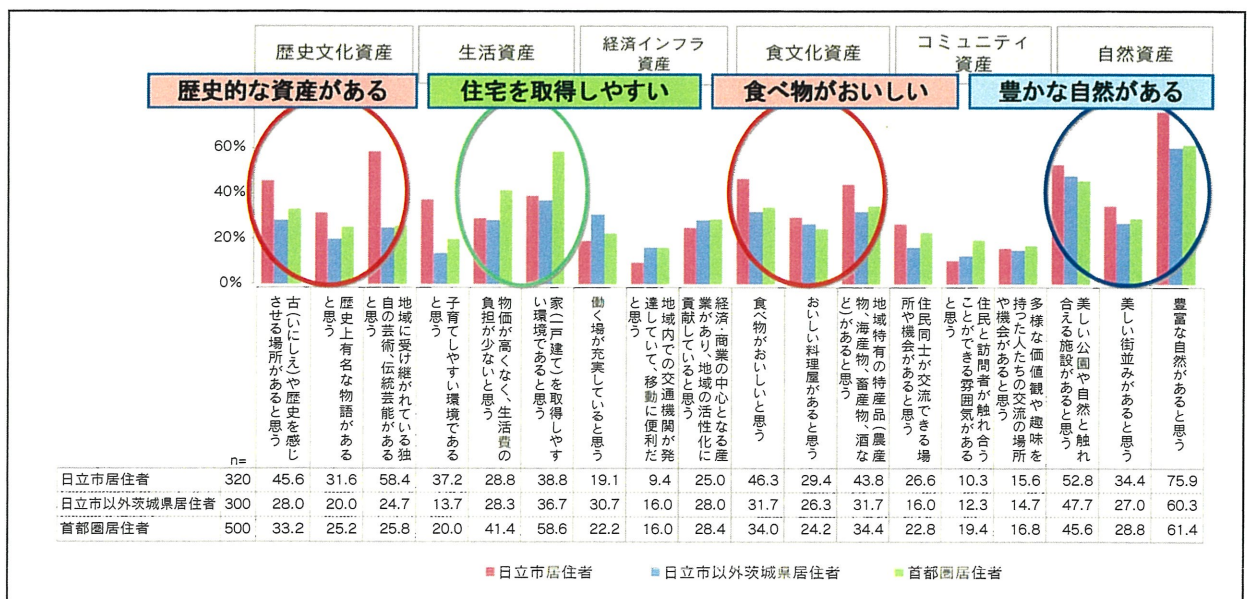
(単位：%)



資料：窓口アンケートの結果（地域創生推進室）

一方で、本市のブランド価値認識調査においては、海・山の自然資産のほか、歴史文化資産に対する評価が高い。

【日立市のブランド資産】



資料：日立市シティプロモーション戦略（シティプロモーション推進室）

(2) 海の現状と課題

ア 現状

東日本大震災以降、海水浴客数は未だ以前の入込客数までは回復しておらず、宿泊施設の数も減少傾向をたどっている。また、砂浜の減少や海岸線の保全と景観形成も進んでいない。

【市内海水浴場の入込客数の推移】

(単位：人)

	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
伊師浜	33,735	2,902	8,673	15,205	11,558	17,078	16,099	11,472	18,541
川尻	10,836	1,002	3,848	4,664	3,727	5,328	4,353	3,062	5,145
会瀬	14,133	1,502	3,829	4,192	3,122	3,893	3,063	2,478	2,745
河原子	88,013	4,723	12,286	14,769	19,483	21,272	11,688	10,199	10,809
水木	15,192	2,299	6,144	5,672	5,033	5,826	5,731	2,918	4,401
久慈浜	168,690	6,478	21,745	22,490	22,205	21,104	14,469	10,893	26,011
総 数	330,599	18,906	56,525	66,992	65,128	74,501	55,403	41,022	67,652

資料：市政概要

【市内海水浴場周辺の宿泊施設数の推移】

(単位：施設)

地区名	H 2 2 . 4	H 2 5 . 4	H 3 0 . 4
伊師浜	1	1	1
川尻	2	2	2
会瀬（日立駅前含む）	10	6	7
水木・河原子	9	9	9
久慈浜	1	2	2
合 計	23	20	21

資料：産業経済部（茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合日立支部加盟施設）

イ 課題

海に関するテーマについて様々な角度から課題の抽出を行い、次の①～④のように整理した。なお、参考として、「海に関する課題まとめ」を資料－4(P.17)に掲載した。

①海周辺の施設に関する課題

バーベキュー施設や安全な釣り場など、市民の利用ニーズが高い施設が存在しないことや、小型船舶の係留施設、飲食・宿泊できる施設が少ないなど、レジャー志向の多様化に対応した施設の不足が課題である。

また、海周辺の施設として人気の高い「会瀬青少年の家」の収容人数や「道の駅日立おさかなセンター」の狭隘、老朽化対策、海周辺の施設マップがないことなども課題となっている。

②海周辺の環境及び土地利用に関する課題

東日本大震災の影響による砂浜の減少や地盤沈下の回復、崖、史跡、島などの海岸線の保全が進んでいないこと等が課題である。

また、海周辺の施設案内が乏しい、市内海岸線をつなぐウォーキングロードが整備されていないなど、海辺の回遊性を高める方策が施されていない。さらには、公園などの遊び場の少なさや海への眺望の悪さなどに加え、海周辺の市有地の活用が図られていないなどの課題もある。

③海のイメージに関する課題

宿泊利用率日本一の国民宿舎や日本唯一の鵜捕場などを十分にアピールできていないことや、若い世代、特に子育て世帯の遊び場が少ないことなどの課題がある。

また、地元の人が海水浴などのレジャーで海に行かなくなっていることや、東日本大震災による風評被害が払しょくされていないなど、海に対するイメージが低下している。

④専門的・教育的な見地からの課題

海周辺の整備やまちづくりに関する専門的なノウハウや計画・実行する組織・会社などがなく、また、海周辺にまつわる歴史の周知や活用が図られていないことなどが課題である。

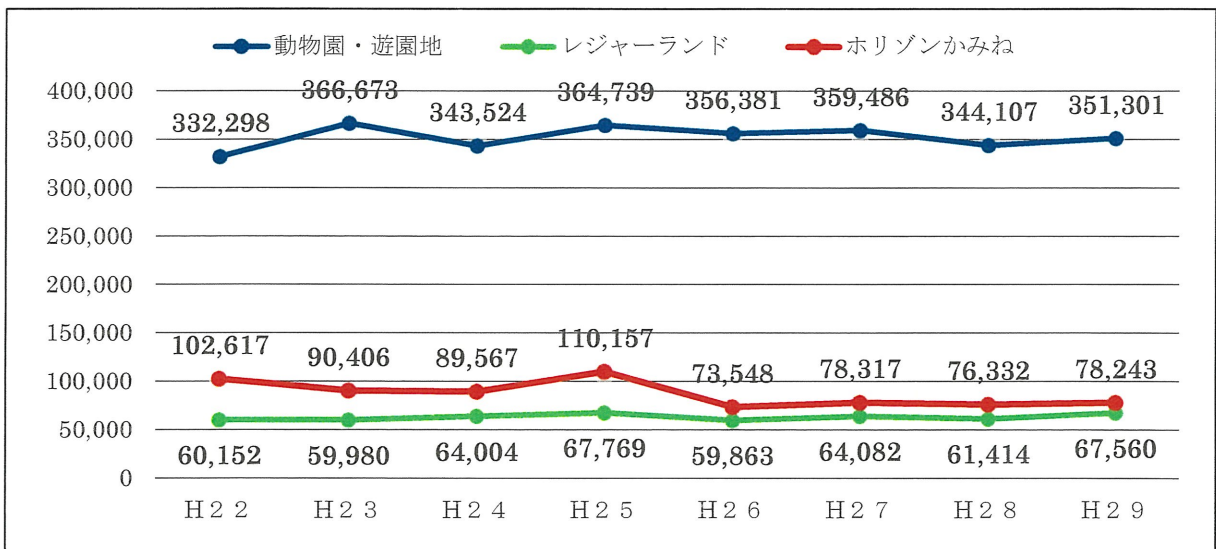
(3) 山の現状と課題

ア 現状

かみね公園においては、動物園でリニューアル効果により入園者数の増加がみられるものの、遊園地やレジャーランド、ホリゾンかみねでは、施設の老朽化対策が進んでおらず、入園者数も低迷している。また、奥日立きららの里においても、同様の傾向である。

【かみね公園各施設の入園者数の推移】

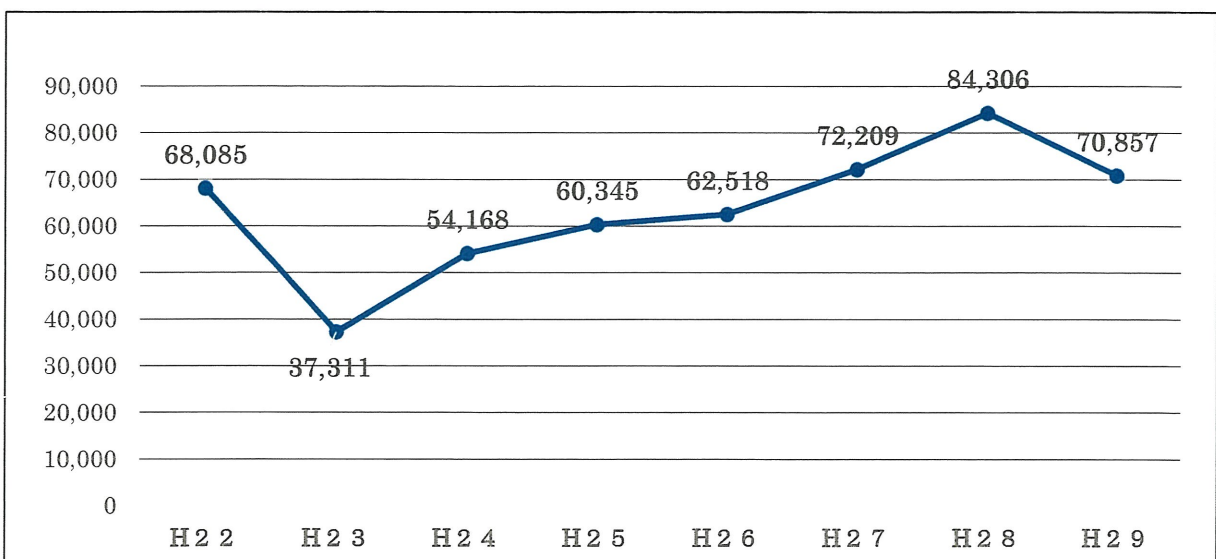
(単位：人)



資料：市政概要

【奥日立きららの里の入園者数の推移】

(単位：人)



資料：市政概要

イ 課題

山に関するテーマについて様々な角度から課題の抽出を行い、次の①～④のように整理した。なお、参考として、「山に関する課題まとめ」を資料－5(P.19)に掲載した。

①山にある施設の活用に関する課題

公園や関連施設の老朽化や各施設を利用する際の回遊性、子育て世帯などの市民に対する優遇策が乏しいことなどが課題である。

②山の楽しみ方に関する課題

ハイキングコースからの眺望やハイカーのための駐車場、公共交通機関、誘導案内などのコース整備に関することや、日立アルプスとしての認定やエリア設定、情報発信など、コース管理やマンパワーに関する課題がある。

③山から発展した歴史に関する課題

カンブリア紀地層の見学スポットや鉱工業の産業遺産群などの活用が不十分であることに加え、パワースポットで人気を博している御岩神社周辺の回遊性などが課題である。

④山全体の活用に関する課題

山の活用に関する専門的な知識やノウハウを持つ推進組織（民間活力）が整っていないことや、ハイキングコースとしての認知度が低いことに加え、情報を発信するマップやサイン計画などが不十分であることが課題である。

3. 課題解決のための海・山の活用の狙いとコンセプト

日立市には、住居地のすぐ近くに「海」、そして「山」が存在しており、他に誇れる貴重な資産である。しかしながら、これらの存在が身近過ぎるゆえ、市民がそのポテンシャルに優位性を感じていない様子である。より身近に感じられるような施策をこれまで以上に進めることで、「定住」や「移住」を考えるためのきっかけとなるようにしたい。

(1) 海・山共通のキャッチコピー

ひたち ^{じゅう}住 スタイル

～ 人と自然がいきづくまち ～

(2) 海活用のコンセプト

「海辺の活用と回遊性の向上」

ア 日立の海を下記の5つのエリアに区分《資料-6(P.21)参照》し、それぞれに名称及びキャッチコピーを設定する。

「伊師浜エリア（ウミウと交流のまち）」、「川尻エリア（伝説と景観のまち）」、「会瀬エリア（出逢いと学びのまち）」、「河原子・水木エリア（スポーツとイベントのまち）」、「久慈浜エリア（食とスポーツのまち）」

イ より身近で、親しみやすい海辺空間をつくる。

エリアごとにオンリーワンの景観や施設を引き立たせ、海のまちとまちをつないで、回遊性を高める。

(3) 山活用のコンセプト

「山周辺に点在する施設の老朽化対策と回遊性の向上」

ア 日立の山を下記の3つのエリアに区分《資料-6(P.21)参照》し、それぞれに名称及びキャッチコピーを設定する。

「北日立アルプス（神話の山）」、「中央日立アルプス（パワースポットの山）」、「南日立アルプス（スポーツの山）」

イ 行ってみたくなる山々と個性あふれる自然（施設）を演出する。

エリアごとにハイキングコースや施設の魅力をアピールして、日立アルプスを引き立たせる。

4. 政策提言

「海」と「山」に分けて、「定住」や「移住」につなげるための政策テーマと施策について協議を行った。なお、参考として、「海・山に関する政策立案まとめ」を資料-7 (P.23)、資料-8 (P.25)に掲載した。

4-1 海の政策テーマ

(1) 海の活用の方向性

ア 海のまちで顔になる施設の活用強化と住んでみたくなる雰囲気づくり

①スポーツを楽しめる海辺

マリンスポーツ、ビーチスポーツの環境整備

②レジャーや飲食を楽しめる施設の整備や誘致

バーベキュー施設や釣り場の整備、飲食店の誘致、道の駅のリニューアル

③親子で楽しむ空間の創造

親水広場や遊具などを取りそろえた公園機能の向上

④樹木や花などによる景観整備

樹木の植栽や花壇の整備による景観の魅力向上

イ 海のまちをつなぎ回遊性を高める

①ウォーキングロードの設定と付帯設備の整備

できる限り連続したウォーキングロードの設定とウッドデッキなどの休息設備の整備

②日立市の歴史を学び（感じ）とれる回遊ルートの設定

茨城百景、日立二十四景、文化財、海防施設跡などの歴史を知ることができるルートの紹介

(2) エリアごとの施策

ア 伊師浜エリア 「ウミウと交流のまち」 (いぶき山～鶺の岬)

施策1：

宿泊利用率日本一の国民宿舎「鶺の岬」や日本唯一の鶺捕場を訪れる人と、十王物産センター「鶺喜鶺喜」を利用する地元市民が交流できるテーマパークをつくり、にぎわいづくりを推進する。テーマパークには地元の食材（野菜、魚）を使った飲食店の誘致を進め、併せて鶺の岬周辺に遊具やバーベキュー施設を整備して、公園機能の拡充を図る。



宿泊利用率日本一の国民宿舎「鶺の岬」

施策2：

いぶき山から鶺の岬までの区間にある日本唯一の鶺捕場やカンブリア紀地層の見学を始め、景観や歴史的文化財・文学碑を回遊できるウォーキングロードを設定する。

(参考：このエリアは日立二十四景に指定され、文化財ではいぶき山イブキ樹叢、海鶺渡来地があり、文学碑では本居豊穎（もとおりとよかみ）の歌碑がある。)

イ 川尻エリア 「伝説と景観のまち」 (小貝浜～日高漁港)

施策1:

海食崖や小貝浜などの海から見た美しい景観を楽しむために、川尻港などから遊覧船を運航する。

施策2:

小貝浜から川尻漁港までの区間にある常陸風土記に記された蚕養神社などの歴史的資産を巡るウォーキングロードを設定する。

(参考: このエリアは茨城百景や日立二十四景に指定され、海防施設跡である川尻異国船番所・台場がある。)



美しい景観の小貝浜

ウ 会瀬エリア 「出逢いと学びのまち」 (東滑川～鮎川河口)

施策1:

このエリアは古くから「逢瀬」(おうせ)と言われた出逢いの歴史があり、また、会瀬青少年の家に代表される学びやスポーツの施設が設置されていることから、学生や社会人の合宿施設として整備する。

また、日立駅から最も近い海岸として、多くの人々が磯遊びやバーベキューのできる総合型のレジャー施設としてリニューアルする。



バーベキューのできる海辺のイメージ

施策2:

東滑川から会瀬までの区間にある陣屋跡などの歴史的資産を巡るウォーキングロードを設定する。

(参考: このエリアには、文化財として滑川浜古墳、文学碑として西行法師(さいぎょうほうし)や島木赤彦(しまきあかひこ)の歌碑、さらには、海防施設跡の初崎台場がある。)

エ 河原子・水木エリア 「スポーツとイベントのまち」 (八反原～水木海岸)

施策1:

河原子北浜スポーツ広場を活用したニュースポーツや親子の遊び場、砂浜を利用したビーチスポーツ、さらにはサーフスポットとしての魅力のある施設整備のほか、海辺の景観を引き立たせるために、ヤシなどの樹木を海岸沿いに連続して植栽する。

また、烏帽子岩周辺の親水公園、水木浜での管理釣り場の設営、市有地などを活用した飲食店の誘致やバーベキュー施設の整備を行う。



樹木が植栽された海岸のイメージ

施策2:

河原子北浜から水木浜までの区間は、茨城百景や日立二十四景に指定された景観の良いエリアであるため、天然記念物や歴史的資産を巡るウォーキングロードを設定する。

(参考: このエリアには、文学碑として藤田東湖(ふじたとうこ)の詩碑や、海防施設跡の河原子台場、大沼異国船御番陣屋、水木異国船御番所があり、また、常陸風土記に記されたみつきの里が存在する。)

オ 久慈浜エリア 「食とスポーツのまち」 (田楽鼻～久慈川河口)

施策1：

マリンレジャーやマリンスポーツの拠点として、小型船舶の係留施設の確保や水上バイク等が楽しめる施設の整備を行う。

道の駅日立おさかなセンターに、日立市の特産品を使った「食」のコーナーやバーベキュー施設を併設するなどの拡張リニューアルを行うとともに、なぎさ公園に管理釣り場を備えるなど、エリア一帯を一大親水公園として整備し、魅力を高める。

さらには、エリア一帯の景観を引き立たせるために、現在ある道路里親による花壇を活用するとともに、各種さくらの計画的な植栽を行う。



海が見える「道の駅」のイメージ

施策2：

田楽鼻から久慈川河口までの区間は、茨城百景や日立二十四景に指定された景観とともに、日立港区に産業拠点が融合する国内でもまれな海浜エリアであるため、様々な光景を堪能できるウォーキングロードを設定する。

(参考：このエリアには、文化財として六つヶ塚古墳、文学碑として長塚節(ながつかつかしの)の歌碑があり、海防施設跡では久慈台場がある。)

(3) エリア共通の施策

ア 民間活用

- ① 公民の役割明確化と庁内横断的な組織の確立
- ② まちづくり会社の設立や民間企画立案会社の公募
- ③ お試し居住ツアーなどの企画による移住の支援

イ 情報発信

- ① 海辺を楽しむために、歴史やビューポイント、施設案内などを網羅したマップの作成
- ② SNSの活用と市民一人ひとりのシティセールス(シビックプライド)の実践

ウ 見せるための景観形成

エリアごとにある公園やウォーキングロードなどのビューポイントや景観の改善

4-2 山の政策テーマ

(1) 山の活用の方向性

ア 市民が繰り返し訪れたいくなる施設の整備と回遊性を高める企画立案

① 施設の老朽化対策と魅力づくり

かみね動物園や遊園地、レジャーランド、ホリゾンかみね、奥日立きららの里などの施設の老朽化対策と魅力ある遊び場(遊び方)の演出

② 誰もが何度も訪れたいくなる利用制度の創設

特に、市民の子育て世帯を中心とした優遇制度の考案

③ 施設間の連携強化による回遊性の向上

御岩神社を始めとするにぎわいのある施設を訪れる人の市内各所への誘導

イ 山全域の総合的な活用

- ①ハイキング・トレイルランのコース整備（樹木選定や伐採など）と認定
- ②山を身近に感じるためのアクセスポイントの整備
道路・駐車場整備、公共交通機関との連携、休憩所・案内所の整備
- ③山の産業資産や文化財のほか、さくらの山や日立二十四景を探訪できるルートの設定

(2) エリアごとの施策

ア 北日立アルプス 「神話の山」 (堅破山～小木津山自然公園)

施策1：

十王パノラマ公園の老朽設備（展望台、遊具）の改修、35種・400本を誇る桜の適切な管理を行うとともに、隣接する十王ダムや十王川を活用したレジャーを企画する。

たかはら自然塾において、利用頻度が少ない設備や老朽化した施設をリニューアルし、里山遊びを楽しむことができるようにする。



桜が咲き誇る「十王パノラマ公園」

施策2：

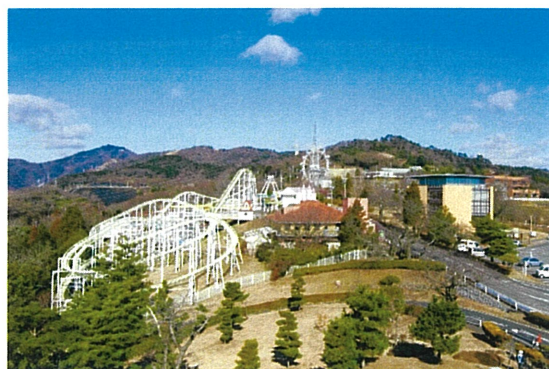
- ①目的別ハイキングコースを設定する。
 - ・北日立アルプス縦走ハイキングコースの設定
 - ・堅破山ハイキングコースの活用とPR（太刀割石、神楽石、仁王門など）
 - ・5億年前の地層を巡るルートの設定（カンブリア紀地層の表出ポイントを巡る）
 - ・歴史や名所を巡るルートの設定（日立二十四景として、堅破山や小木津山自然公園、小木津不動滝などがある）
- ②コースにおける付帯設備を整備する。
トイレ、駐車場、休憩所の設営

イ 中央日立アルプス 「パワースポットの山」 (中里～かみね公園)

施策1：

かみね公園や奥日立きららの里の遊具など、施設の老朽化対策を進めるとともに、利用リピーターを増やすための施策として、利用優遇策を講ずる。

また、近年多くの方々が訪れ、にぎわいのある御岩神社を拠点として、古民家の活用による飲食サービスや中里地区と市街地とを結ぶ周遊ルートの設定、PRなどを積極的に行う。



魅力づくりを期待する「かみね公園」

施策2：

- ①目的別ハイキングコースを設定する。
 - ・中央日立アルプス縦走ハイキングコースの設定
 - ・5億年前の地層を巡るルートの設定（カンブリア紀地層の表出ポイントを巡る）
 - ・パワースポット周辺の探訪ルートの設定（旧本山トンネルの活用）
 - ・日立市の山桜（大煙突、鞍掛山周辺）の探訪ルートの設定（自動運転車両整備の検討）
 - ・産業資産を巡るルートの設定（大煙突、日鉦記念館、日立武道館など）

- ・歴史や名所を巡るルートの設定（日立二十四景として、御岩神社や大煙突、玉簾の滝、奥日立きららの里、日鉦記念館、中里・里川発電所などがある）

②各コースにおける付帯設備を整備する。

トイレ、駐車場、休憩所の設営

ウ 南日立アルプス 「スポーツの山」（高鈴山～真弓山～風神山）

施策1：

山側道路からの眺望が楽しめる東屋や駐車場などの設定と、ハイキングコースへのアクセスの向上を図る。

また、かみすわ山荘や助川山を活用したハイカーが楽しめるメニューの企画立案を行う。



日立アルプスの南端、風神山への入口

施策2：

①目的別ハイキングコースを設定する。

- ・南日立アルプス縦走ハイキング・トレイルランコースの設定と眺望が楽しめるスポットの整備
- ・5億年前の地層を巡るルートの設定
（カンブリア紀地層の表出ポイントを巡る）
- ・歴史的資産を巡る探訪ルートの設定（金沢金山、水穴、風穴など）
- ・風神山へのアクセスの向上（道路整備、公共交通機関）
- ・歴史や名所を巡るルートの設定
（日立二十四景として、助川城址公園、諏訪梅林がある）

②各コースにおける付帯設備を整備する。

トイレ、水飲み場、駐車場、休憩所の設営

（3）エリア共通の施策

ア 民間活用

- ①観光物産協会、公園協会、市の産業経済部・都市建設部などをつなぐ官民連携の仕組みづくり
- ②お試し居住ツアーなどの企画による移住の支援
- ③まち案内人の活用やボランティアの育成

イ 情報発信

- ①山の楽しみ方を発信する目的別マップの作成と統一的なサイン計画の策定
- ②SNSの活用と市民一人ひとりのシティセールス（シビックプライド）の実践

ウ 見せるためのアクセスの改善と景観形成

エリアごとに公園や歴史的資産へのアクセスの容易化とビューポイントや景観の改善

5. むすびに

日立市は、住む人が住みやすいと感じながらも、生活のしやすさや楽しみ方に関する情報を、分かりやすく、より具体的に発信する力が不足している。

平成31年度に予定されている“いきいき茨城ゆめ国体”、“いきいき茨城ゆめ大会”や翌年度の“東京オリンピック、パラリンピック”を始めとして、多くの人々が本市を訪れる機会が増え、日立市の自然やこの度映画化された「ある町の高い煙突」の題材にもなった大煙突に代表される歴史資産を楽しんだり、市民と触れ合ったりすることが期待される中で、本市の良さを市民が自ら再認識して、シティセールスを実践できる気運の醸成が必要不可欠である。

今後も日立市議会では、「継続は力なり」との信念の下、議員の総意に基づく政策立案・提言活動を通じて、本市の持つ「ひたちらしさ」や資源の魅力を最大限に引き出し、市民がシビックプライドを持っているいきいきと暮らせる環境づくりのために、引き続き一丸となって活動していくべきである。

その際には、今回の協議会の経験を踏まえ、テーマ選定や協議などの提言活動が更にスムーズに行えるようにするため、各常任委員会単位での協議会設置についても検討することが必要である。

最後に、本市が有する唯一無二の資源である「海」と「山」を活用した定住（移住）促進のため、まちづくり政策協議会の本提言に対して、市長を始めとする執行部各位の御理解と真摯な取組を期待するものである。

以 上

資 料

- 資料－ 1 まちづくり政策協議会委員名簿

- 資料－ 2 まちづくり政策協議会（準備会）の開催経過

- 資料－ 3 まちづくり政策協議会の現地調査箇所

- 資料－ 4 海に関する課題まとめ

- 資料－ 5 山に関する課題まとめ

- 資料－ 6 海と山 エリアごとのイメージ図

- 資料－ 7 海に関する政策立案まとめ

- 資料－ 8 山に関する政策立案まとめ

まちづくり政策協議会委員名簿

座 長 (副議長)	青 木 俊 一
会 派 名	委 員 氏 名
民 主 ク ラ ブ	白 石 敦
	吉 田 修 一
	大 庭 弘 美
日 立 市 政 ク ラ ブ	瀬 谷 幸 伸
	今 野 幸 樹
	蛭 田 三 雄
ひ た ち 未 来	伊 藤 智 毅
	白 土 仙三郎
公 明 党	三 代 勝 也
	添 田 絹 代
無 会 派 (日本共産党日立市議団)	小 林 真美子

まちづくり政策協議会(準備会)の開催経過

時 期	手 順	会議等	内 容
H29.9月 ～ H30.2月	テーマ選定、 ヒアリング等	9/29 協議会 11/30 協議会 12/15 準備会 12/19 協議会 1/10 準備会 1/16 協議会 1/29 協議会 2/2 準備会 2/16 協議会 2/19 協議会 2/22 協議会	まちづくり政策協議会の立ち上げ テーマ選定の考え方協議 テーマに対する各会派の考え方を整理 テーマの絞り込み 〃 ヒアリングについての検討 観光物産課、観光物産協会ヒアリング 医療に関するヒアリングの内容検討 日立商工会議所(観光委員会)ヒアリング 日立総合病院ヒアリング ひたち医療センターヒアリング
3月～ 4月	課題整理	3/8 協議会 3/26 協議会 4/18 協議会	ヒアリングした内容を含めて課題整理方法の検討 会派の検討結果の持ち寄り、課題の分類・整理 討議
5月～ 6月	問題分析	5/8 準備会 5/18 協議会 6/7 準備会 6/19 協議会	SWOT分析などによる課題抽出後の原因・解決 策について協議
6月	先進市議会 調査	6/28～29 (行政視察)	政策立案についての先進事例を調査 (桐生市、小平市)
7月～ 8月	政策立案準備	7/9 協議会 7/19 協議会 7/25 協議会 8/6 協議会 8/24 協議会	課題ごとの分類と政策立案レベルの確認と整理 〃 〃 〃 〃
8月	現地調査	8/31 (現地調査)	海・山に関する現状調査
9月～ 11月	政策(案)協議	9/6 協議会 9/12 協議会 9/27 協議会 10/2 協議会 10/9 協議会 10/19 協議会 10/26 協議会 11/6 協議会 11/13 協議会 11/21 協議会 11/29 全議員への説明会	政策の方向性とコンセプトを協議 〃 政策の柱と具体策についての協議 海に関する政策の協議 山に関する政策の協議 海・山全般に対する政策のレビュー 政策提言書(案)の協議 〃 〃 〃 政策協議会の活動報告と政策提言書(案)の内容 説明 → 議長への答申
11月	政策提言	11/30	市長へ政策提言書を提出する

まちづくり政策協議会の現地調査箇所

平成30年8月31日(金) 午前9時～

No.	時間	調査箇所	備考
1	9:10～9:20	かみね公園	
2	9:40～10:00	奥日立きららの里	
3	10:05～10:15	御岩神社	
4	10:35～10:40	十王ダム	
5	10:45～10:55	十王パノラマ公園	
6	11:15～11:30	伊師浜海岸周辺	
7	12:25～12:40	川尻海岸周辺	
8	13:05～13:25	会瀬海岸周辺	
9	13:40～14:00	河原子海岸周辺	
10	14:05～14:20	水木海岸周辺	
11	14:30～15:00	久慈浜海岸周辺	

海に関する課題まとめ

◎：大いに関係あり、○：関係あり、△：関係薄い、●：エリア毎の課題抽出

No	分類	区分	抽出された課題	定住度	民間活用度	海のまち				
						伊師浜	川尻	会瀬	河原子 水木	久慈浜
1	海周辺に欲しい施設の課題	レジャー	・ニーズが大きいにもかかわらずBBQ施設がない	◎	◎	○			○	○
		〃	・安全に釣りができる場所がない			●	○	○●	○●	○
		〃	・マリンスポーツを行える場所、関連店舗が少ない						○	○
		〃	・市内で唯一の釣り船（プレジャーボート）があるが、いかされていない							●
		〃	・小型船舶の係留施設が少ない							○
		〃	・海水浴客が少ない			●	●			
		〃	・国民宿舎「鶉の岬」周辺で（遊ぶ）場所がない			●				
		〃	・宿泊施設が少ない（民宿が2軒）			●				
		食	・飲食できる施設が少ない				○	○	○	
		〃	・朝市を常設するなどの仕掛けがない			●				
		〃	・リゾートマンションなど住宅施設整備が進んでいない			○				
〃	・海辺にお試し居住制度を導入していない			○	○	○				
2	海周辺の土地活用に関する課題	アクセス	・駐車場が少ない	◎	◎		○	○	○	○
		〃	・駐車場が有料である（夏季）					○	○	○
		〃	・海岸へのアクセスが良くない				○	○		
		〃	・海周辺の施設案内が乏しい（サインやマップ）			○	○	○	○	○
		まちづくり	・居住エリアの再編などを中心とした海辺のまちづくりが進んでいない（面的整備ができていない）			○	○	○	○	○
		〃	・市有地が活用されていない					○	○	○
		〃	・昔の街並み（旭町）をいかした取組がない					●		
		〃	・旧初崎保健センター跡が空き地となっている					●		
		〃	・日立バイパス整備との調整が必要である					●		
		〃	・焼却場、道路センター跡地が活用されていない						●	
		〃	・水木エリアの国有地の活用が検討されていない						●	
		健康・遊び	・市内海岸線をつないだジョギング・ウォーキングロードが整備されていない			○	○	○	○	○
		〃	・小貝浜～鶉の岬間の遊歩道が整備されていない						○	
		〃	・遊歩道の整備（川尻漁港～十王川）が限定的である				●			
〃	・東滑川緑地の活用をする必要がある		●							
〃	・海周辺の公園・遊び場が少ない		○	○		○				
〃	・公園から海への眺望が悪い			○		○				
3	イベント的な見地からの課題	イベント	・海のイベントが分散化している（花火大会、お祭り）	◎	◎		○	○	○	○
		〃	・国民宿舎「鶉の岬」の地域交流事業が知られていない			●				
4	海のイメージに関する課題	情報発信	・原発事故の風評被害が払拭されていない	◎	△	○	○	○	○	○
		〃	・海の良さをPRできていない			○	○	○	○	○
		〃	・地元の人が海に行かない			○	○	○	○	○
		〃	・海に対する意識が変化している			○	○	○	○	○
		施設情報	・「日本一」「日本で唯一」の施設をPRできていない			●				
		〃	・「海の幸」「山の幸」を同時に味わえることが発信されていない			●				
		〃	・初崎海岸で磯遊びができることが知られていない					●		
		〃	・定置網漁を行っていることが知られていない					●		
		〃	・河原子エリアに子供向けの遊び場（遊具）がない						●	
		〃	・ひたちBRTが走行していることを活用できていない							●
5	専門的な知識に関する課題	専門家	・整備に対する専門的なノウハウを持っていない	-	◎	○	○	○	○	○
		〃	・海の活用についてのプランニングが進んでいない			○	○	○	○	○
		〃	・海周辺のまちづくりを計画、実行する組織がない			○	○	○	○	○

6	海周辺の環境的な課題	衛生	・海水浴場のトイレが老朽化（汚い、臭い）している	○	△			○	○	
		〃	・海辺の汚れ						○	○
		地形	・海岸線の沈下（砂浜の後退）			○		○	○	
		〃	・砂浜の回復が進んでいない（漁業権の問題がある）						●	
		〃	・海岸線の保全が進んでいない（岸壁、史跡、島）			●	●	●	●	●
7	海周辺にある施設の課題	学び・遊び	・会瀬青少年の家のキャパシティが少ない（特に夏季）又活用する方策ができていない	△	○			○●		
		〃	・北浜スポーツ広場の活用が広がっていない						●	
		〃	・サンピア日立のスケート場がなくなった（LNG活用できないか）							●
		観光・周遊	・国民宿舎「鶴の岬」は子連れの宿泊客が少ない			●				
		〃	・鶴捕り場の見学者がエリア内で回遊していない			●				
		〃	・海周辺のマップがない			●	●	●	●	●
		〃	・小貝ヶ浜には馬の足跡や蚕養神社などがあるが知られていない				●			
		〃	・日立駅に近接している優位性がいかされていない					●		
		〃	・河原子周辺に宿泊施設は多くあるがいかされていない						●	
		〃	・道の駅の再整備が必要である（狭隘、老朽化対策）							●
		〃	・道の駅おさかなセンターの商品内容等が充実していない（飲食スペースが少ない、お土産が買えない）							●
		〃	・日立港区へ大型クルーズ船が寄港しない							○
8	教育的な見地からの課題	教育	・海周辺の歴史があまり知られていない	○	△	○	○	○	○	○
		〃	・風土記（史跡）スポットが活用されていない				●			
9	財政的な課題	財源	・整備には多額の費用がかかる	—	—	○	○	○	○	○

山に関する課題まとめ

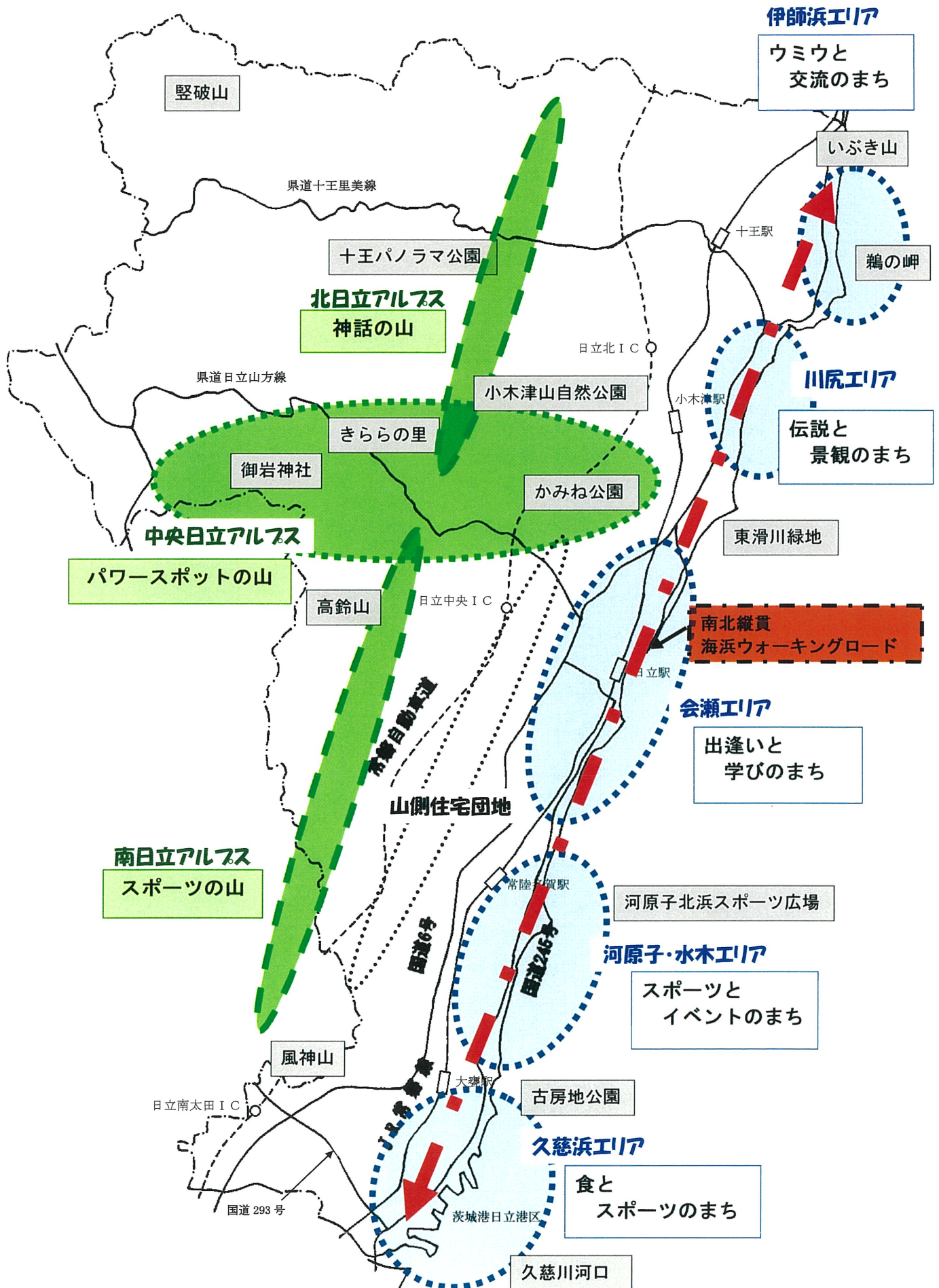
◎：大いに関係あり、○：関係あり、△：関係薄い、●：エリア毎の課題抽出

No	分類	区分	抽出された課題	定住度	民間 活用度	日立アルプス		
						北	中央	南
1	山にある施設の活用に関する課題	かみね公園	・回遊性が不足している	◎	◎		○	
		〃	・施設間格差がある				○	
		〃	・運営団体の努力、あるいは職員が不足している				○	
		〃	・施設が老朽化している				○	
		〃	・レジャーランドの経営状況がよくない				○	
		〃	・ホリゾンかみねの認知度が低い				○	
		〃	・吉田正音楽記念館の来場者の年齢層が固定化している				○	
		〃	・子育て世帯への優遇策が少ない				○	
		きららの里	・入場料が高い				○	
		〃	・施設が利用しづらい(車両通行、サービス)				○	
		〃	・教育的な施設として活用されていない(コンセプトがない)				○	
		〃	・気軽に入浴できる仕組みがない				●	
		関連施設	・日立ゴルフクラブの多目的な利用が進んでいない				○	
2	山の生活に親しむことについての課題	企業誘致	・ベンチャー企業が活躍できるスポットが用意されていない	◎	◎	○	○	○
		住	・山側住宅団地への定住(移住)促進が進んでいない					○
		〃	・中里地区へ首都圏から人を呼び込むための施策がない				○	
3	山の自然を楽しむことについての課題	日立アルプス	・認知度が低い	◎	△			○
		〃	・ハイキングコースの整備が不十分である			○	○	○
		〃	・眺望が悪い(コース途中や高鈴山頂、石尊山など)			●	●	○
		〃	・山側団地からのアクセスが悪い					○
		〃	・ハイカーへの配慮が足りない(駐車場案内など)			○	○	○
		〃	・駐車場と道路の整備が必要である					●
		〃	・アクセス手段として公共交通機関が必要である			●	●	●
		〃	・トイレがない					●
		〃	・休憩スペースの整備が必要である					●
		〃	・道標(景勝地の案内)の整備が必要である					●
		〃	・コース管理、情報発信にボランティアの力が足りない				●	●
		〃	・施設間の回遊性がない				●	
		〃	・ロープウェイがない				●	
		〃	・大島桜(山桜)の鑑賞ポイントが整備されていない(鞍掛山~蛇塚)				●	
		〃	・日立アルプスという認定がない(特に北アルプス)			●		
		〃	・十王ダムや十王川が活用されていない			●		
		〃	・不動滝(パワースポット)が活用されていない			●		
小木津山 自然公園	・公園の利用者がシニア層に偏っている		○					
4	山から発達した歴史についての課題	自然遺産	・カンブリア紀地層が活用されていない(見学スポットが知られていない)	◎	△	●	○	
		〃	・ジオパーク認定取消しという不名誉な事態となっている				○	
		〃	・御岩神社を中心とした回遊ができていない			○	○	○
		〃	・玉簾の滝の駐車場が整備されていない				○	
		〃	・金山跡(金沢町)が知られていない					●
		歴史遺産	・歴史的遺産が知られていない			●		
		産業資産	・鉱工業産業遺産群が広く認知されていない(日本遺産群登録)				○	
		〃	・日本唯一の施設である「索道」を活用する				●	
〃	・小平記念館・創業小屋が開放されていない		○					

5	その他の課題	民間活力	・山の活用全般に対する民間活力が必要	—	◎	○	○	○
		〃	・山全体の活用に関して取りまとめする組織（庁内）がない			○	○	○
		情報発信	・山の施設全般に対してサインなど案内が不足している			○	○	○
		〃	・トレイルランコースとしての認知度が低い					●
		〃	・諏訪水穴、大久保風穴が活用されていない					●
		〃	・十王パノラマ公園の桜が鑑賞ポイントとしての認知度が低い			●		
		〃	・日立市全体をまとめたガイドブックがない			●	●	●
		〃	・観光マップ、史跡マップがそれぞれに存在する（バラバラ）			●	●	●
		〃	・ハイキングコースが1枚のマップにまとまっていない			●	●	●
		健康	・健康志向の高まりに対応していない（年金道路の利用のように）			○	○	○

海と山 エリアごとのイメージ図

資料-6



海に関する政策立案まとめ

海・山共通のコンセプト：「スポーツ」と「レジャー」プラス「歴史（文化）」⇒ キャッチコピーの検討

「スポーツが盛んな」まち立市で、海と山の自然を活用して「楽しめる（レジャーの）」まち、「学び・体感もできる」まちをつくる

No	政策の柱	主要施策	エリア共通策	海のまちづくり（エリアごとの施策）				
				伊弉浜エリア いぶき山～鵜の岬 「ウミウと交流のまち」	川尻エリア 小貝浜～日高漁港 「伝説と景観のまち」	会瀬エリア 東滑川～鮎川河口 「出逢いと学びのまち」	河原子・水木エリア 八反原～水木海岸（浜） 「スポーツとイベントのまち」	久慈浜エリア 田楽鼻～久慈川河口 「食とスポーツのまち」
1	<p>海辺の活用と回遊性の向上 ＜親しみやすい空間＞</p>	<p>【1. 海のまちで頼りになる施設、活用の強化】 ①スポーツを楽しめる海辺（河口） （マリンスポーツ、ビーチスポーツの環境整備） ②レジャーや飲食を楽しめる施設 （BBQ施設、道の駅、飲食店の誘致、釣り場の整備） ③親子で楽しむ空間 （親子で遊べる親水公園や子育て支援施設）</p>	<p>・施設の新設・リニューアルと活用</p>	<p>1. 絵巻鶴巻を中心とした交流拠点となるテーマパークをつくり、にぎわいづくりを推進する。 ①地元食材を使った飲食店の誘致を進める。 ②鵜の岬周辺に遊具やBBQ施設を整備して、公園機能の再生を図る。</p>	<p>1. 海からの美しい景観を楽しむために、遊覧船を運航する。 （海食進、日本唯一の鵜捕場） ①進入路整備 ②日立ハイパス工事専用道路の活用など</p> <p>2. 浜の宮ロードパーク周辺を利活用し、管理釣り場として整備する。</p>	<p>1. 会瀬青少年の家をリニューアルし、学生や社会人のスポーツ合宿を積極的誘致する。 ①進入路整備 ②日立ハイパス工事専用道路の活用など</p> <p>2. 浜の宮ロードパーク周辺を利活用し、管理釣り場として整備する。</p>	<p>「スポーツとイベントのまち」 1. 烏帽子岩周辺への親水公園や、水木浜への管理釣り場など、親子で楽しめる空間を整備する。 2. 河原子北浜スポーツ広場のスケートボード場やサーフスポット周辺において、ビーチスポーツや親子で遊べる場所をつくる。</p> <p>3. 飲食、宿泊施設にBBQ施設を併設するなど、魅力度の高いスポットを整備する。</p> <p>4. マリンレジャーやマリンスポーツの拠点として、小型船舶の係留施設や水上バイク等を楽しめる施設を整備する。</p> <p>5. 自転車貸出所を久慈サンプピア日立に併設し、多様なコースをつくり魅力度を高める。</p>	<p>田楽鼻～久慈川河口 「食とスポーツのまち」 1. 久慈川河口やなぎさ公園に親水公園を整備し、管理釣り場を併設する。 2. 海からの美しい景観を楽しむため、定期的な遊覧船を就航させる。 3. 道の駅をリニューアルし、BBQ施設などを整備する。 4. マリンレジャーやマリンスポーツの拠点として、小型船舶の係留施設や水上バイク等を楽しめる施設を整備する。 5. 自転車貸出所を久慈サンプピア日立に併設し、多様なコースをつくり魅力度を高める。</p>
	<p>【2. 海のまちをつなぐ回遊性を高める】 ④ウォーキングロードの再整備 （できる限り連続したウォーキングロードの設定とウッドデッキなどの休息設備の整備） ⑤日立市の歴史を学び（感じ）とれる取組</p>	<p>・各エリアのウォーキングロードの整備と連結</p>	<p>いぶき山～鵜の岬間 1. 日本唯一の鵜捕場やジオパークとしての魅力を高める。 2. 日立二十四景 3. 茨城百景碑：川尻海岸 4. 文化財：いぶき山イブキ樹叢、海鵜渡来地 5. 文字碑：本居豊頼歌碑</p>	<p>小貝浜～川尻漁港間 1. 蚕養神社などの歴史的資産の魅力を発信する。 2. 日立二十四景 3. 海防：川尻異国船番所・台場 4. 文化財：川尻海岸 5. 文字碑：本居豊頼歌碑</p>	<p>東滑川～会瀬間 1. 陣屋跡などの歴史的資産の魅力を発信する。 2. 文化財：滑川浜古墳 3. 文学碑：西行法師歌碑 4. 海防：初崎台場</p>	<p>河原子北浜～水木浜間 1. ヒカリゴケなどの天然記念物について情報を発信する。 2. 日立二十四景 3. 茨城百景碑：河原子海水浴場と水木浜 4. 文学碑：藤田東湖詩碑 5. 海防：河原子台場、大沼異国船御番陣屋、水木異国船御番所</p>	<p>田楽鼻～久慈川河口間 1. 海上物流の拠点である日立港区の情報を発信する。 2. 日立二十四景 3. 文化財：六つヶ塚古墳 4. 茨城百景碑：久慈浜海岸 5. 文字碑：真塚節歌碑 6. 海防：久慈台場</p>	

2	<p>土地の有効活用と景観の再整備</p> <p><オンリーワンの街並み></p>	<p>【3. 住んでみたくなくなる雰囲気づくり】</p> <p>①海のまちな環境の再整備 (市有地などの活用による誘導、お試し居住)</p> <p>②海岸沿いの再整備 (砂浜、崖地、ビューポイント、街並み)</p>	<p>・住居の誘導と街並みの再整備</p>	<p>1. 他にほない白砂青松の風景を活用し、住んでみたくなくなるような街並みを再現する。</p>	<p>1. 美しい景観が楽しめるビューポイントを選定した上で、案内板を整備して誘導する。</p>	<p>1. 市有地などを活用して、お試し居住エリアを設定する。</p>	<p>1. 海岸線への樹木植栽(ヤシの木、フェニックスなど)を行い、魅力ある景観づくりを推進する。</p> <p>2. 市有地などを活用して、お試し居住エリアを設定する。</p>	<p>1. 久慈サンピア日立を活用した「日立の魅力」を体感するお試し居住ツアー」を企画し、移住促進を図る。</p>
3	<p>民間活用と積極的な情報発信</p>	<p>①民間企業との連携した事業構築</p> <p>②あらゆる情報伝達ツールを使った情報発信や案内</p>	<p>1. 公民の役割明確化と庁内横断的な組織の確立</p> <p>2. まちづくり会社の設立や民間企画会社の公募</p> <p>3. 海辺を楽しむマップの作成(歴史やビューポイント、施設案内)</p> <p>4. SNSの活用と市民一人ひとりのシティセールス</p>					

山に関する政策立案まとめ

海・山共通のコンセプト：「スポーツ」と「レジャー」と「歴史（文化）」⇒ キャッチコピーの検討
 「スポーツが盛んな」まち日立市で、海と山の自然を活用して「楽しめる（レジャーの）」まち、「学び・体感もできる」まちをつくる

No	政策の柱	主要政策	エリアの共通策	日立アルプス				
				北	中央	南		
1	施設間の回遊性の向上 <個性あふれる施設>	【1. 市民が繰り返し訪れる施設の整備】 ①施設の老朽化対策と魅力づくり（かみね遊園地、かみねレジャーランド、ホリゾンかみね、奥日立きらの里） ②誰もが訪れやすくなる制度を創設（子育て世帯を中心とした市民優遇策） 【2. 単一的目的ではなく複合的なレジャー企画】 ③施設間の連携強化による回遊性向上 ④既存施設を活用した新たな価値観の創造	施設の老朽化対策と市民利用への優遇策	北 堅破山～小木津山自然公園 「神話の山」	中央 中里～かみね公園 「パワースポットの山」	南 高鈴山～真弓山～風神山 「スポーツの山」		
2	日立アルプスの活用 <身近な山々>	【3. 山全体の総合的な活用】 ①日立アルプスを北・中央・南エリアに分類する ②ハイキング、トレイルランのコース整備と認定 ③山を身近に感じるためのアクセスポイントの整備（道路・駐車場整備、公共交通との連携、休憩所・案内所の整備） ④山の歴史・カンブリア紀地層・さくらの山・日立二十四景、文化財、文学碑、産業遺産、滝、神社・仏閣、湧水などをキーワードとした探訪ルートを設定	ハイキングコースの再設定と整備	北 1. 十王ダムの活用 2. 十王川の活用（溪流釣り） 3. たかはら自然塾の活用（足湯） ①自然とふれあうお試し居住ツアー	中央 1. 御岩神社（パワースポット）の活用 2. 古民家等を活用した山村農業、自然体験お試し居住ツアー ①中里、里川発電所近くの川遊び ②レジャー農園との連携ツアー	南 1. 目的別ハイキングコースの選定 ①北日立アルプス縦走ハイキングコース ②堅破山ハイキングコースの活用・PR（太刀割石、神楽石、仁王門など） ③5億年前の地層を巡るルート（カンブリア紀地層表出ポイント巡り） ④歴史や各所（日立二十四景など）を巡るルート（自動運転車両の整備） 2. 日立二十四景： 堅破山、小木津山自然公園、小木津不動滝	中央 1. 目的別ハイキングコースの選定 ①中央日立アルプス縦走ハイキングコース ②5億年前の地層を巡るルート（カンブリア紀地層表出ポイント巡り） ③パワースポットの周辺探訪（御岩神社、三本杉、賀ひ礼の峰） ④日立の山桜（大煙突、鞍掛山周辺）探訪ルート（自動運転車両の整備） ⑤日鉱記念館、日立武道館、大煙突など産業遺産を巡るコース 2. 玉簾の滝周辺の駐車場整備によるポテンシャルアップ 3. 日立二十四景： 御岩神社、大煙突、玉簾の滝、奥日立きらの里、日鉱記念館、中里・里川発電所	南 1. 目的別ハイキングコースの選定 ①南日立アルプス縦走ハイキングコース ②5億年前の地層を巡るルート（カンブリア紀地層表出ポイント巡り） ③歴史の資産（金沢金山、水穴、風穴）の探訪ルートと連結したコース 2. ハイキングコース、トレイルランコースのハード整備 （展望、休憩施設、水場、トイレ、サインの整備） 3. 日立セメント索道の活用 4. 日立二十四景： 助川城址公園、諏訪梅林、日立セメントの索道
3	民間活用と積極的な情報発信	①民間企業と連携した事業構築 ②多様な情報伝達ツールを利用した情報発信や案内	ハイキングコースの再設定と整備	北 1. 観光物産協会、公園協会、市の産業経済部・都市建設などをつなぐ仕組み（官民連携）の構築 2. 山の楽しみ方を発信する目的別マップの作成と統一的なサイン計画の策定 3. SNSを活用した情報発信（歴史やビューポイント、施設案内など）	中央 1. 観光物産協会、公園協会、市の産業経済部・都市建設などをつなぐ仕組み（官民連携）の構築 2. 山の楽しみ方を発信する目的別マップの作成と統一的なサイン計画の策定 3. SNSを活用した情報発信（歴史やビューポイント、施設案内など）	南 1. 観光物産協会、公園協会、市の産業経済部・都市建設などをつなぐ仕組み（官民連携）の構築 2. 山の楽しみ方を発信する目的別マップの作成と統一的なサイン計画の策定 3. SNSを活用した情報発信（歴史やビューポイント、施設案内など）		